

『当院回復期病棟における脊髄損傷者の歩行再獲得の実態調査』

【目的】脊髄損傷者の歩行予後予測については海外および国内で多くの研究がなされていますが、それらの研究は本邦の診療報酬制度に則った回復期病棟で入院する脊髄損傷者の歩行予後予測には適応しにくいものとなっており、回復期病棟でも利用可能な脊髄損傷者の歩行予後予測ツールが必要であります。今回は機能的にはプラトーに達するとされる受傷後3ヶ月（～6ヶ月）の運動機能等の情報から当院回復期病棟で入院しリハビリテーションを受けた方々の中で、どのような方が歩行再獲得が出来たのか、あるいは出来なかったのかを後ろ向き研究により検討することを目的とします。

【期間】研究許可日～2023年10月31日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2014年1月1日～2023年3月31日までに当院新1階病棟あるいは4階西病棟へ入院された脊髄損傷者の方

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：基本属性（年齢、性別、家族歴、キーパーソン、家屋環境などの個人・背景情報）、ISNCSCIで得られる脊髄損傷に関連した評価結果（損傷部位、ASIA Impairment Scale、NLI、完全損傷か不全損傷か？など）、WSCIIⅡ、FIM（運動項目および認知項目の各点数）、退院先（自宅、自宅以外の施設等）など

【試料・情報の管理責任者】

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 院長 細野 昇

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘4-8-1 TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 リハビリテーション部 ・ 理学療法士

研究責任者 宮下 創